

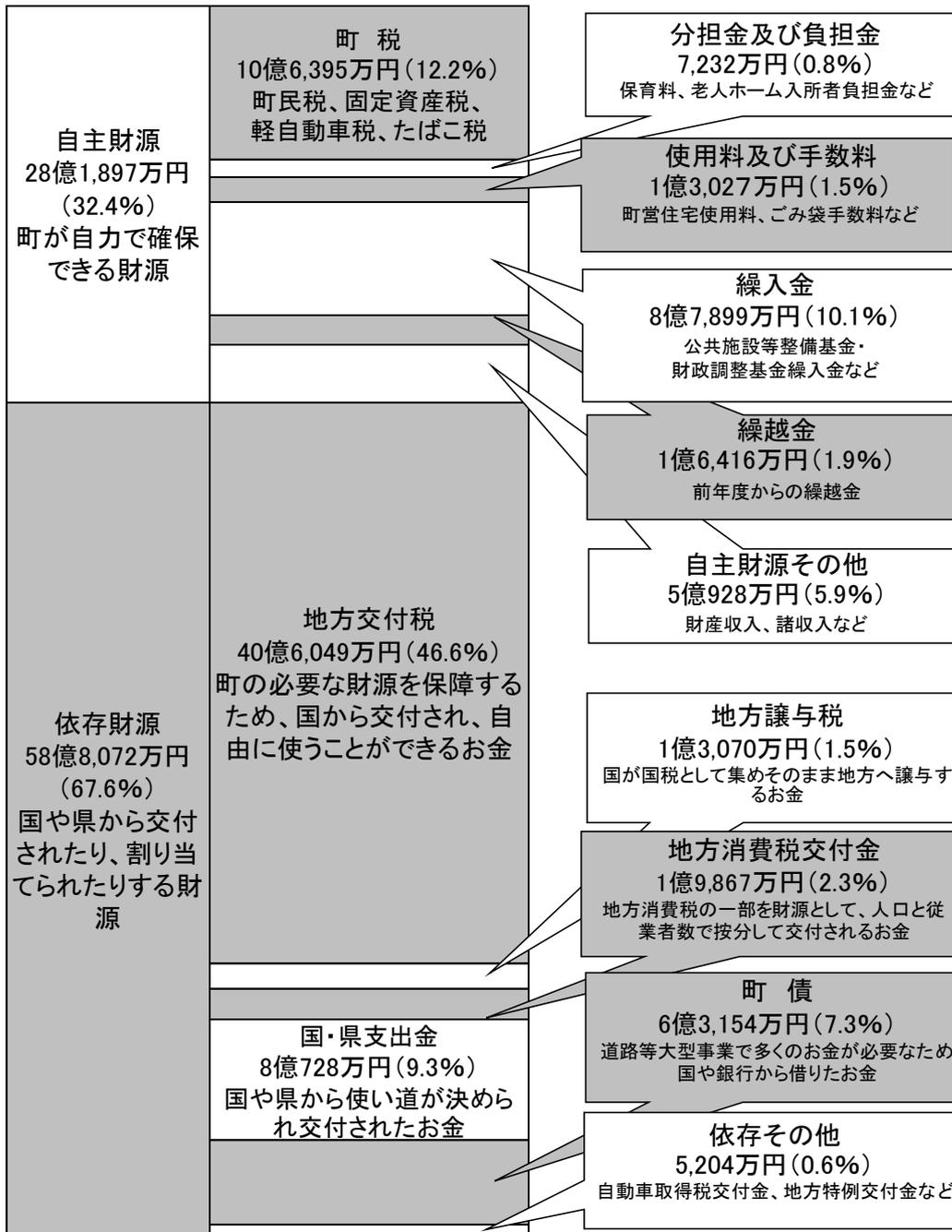
平成 30 年度決算報告

平成30年度佐久穂町における各会計の「歳入歳出決算」が、9月の定例議会で認定されましたので、一般会計を中心にお知らせします。

一般会計の歳入決算額は86億9,969万円、歳出決算額は83億2,780万円、当年度で事業が未完了であったため翌年度へ繰り越す財源が1億5,677万円、歳入歳出を差し引いた実質収支は2億1,512万円となりました。

そのうち1億800万円を減債基金へ積み立て、残りの1億712万円を令和元年度の一般財源として繰り越しました。

歳入 86億9,969万円



歳入総額は前年度より6億520万円の増となっています。

[表中()内は構成比]

主なものとして、財政調整基金や公共施設等整備基金を取崩したことで「繰入金」が前年度より4億4,436万円(102.2%)の増、「自主財源その他」に含まれている「諸収入」が特別会計からの償還金などで2億3,702万円(148.2%)の増となりました。

一方、地方交付税は前年度より5,661万円(1.4%)の減となりました。

歳出83億2,780万円

経常的経費 49億4,979万円 (59.4%) 毎年度持続的、固定的に支出される経費	義務的経費 30億3,048万円 (36.4%) 支出が義務づけられ、任意に節減できない硬直性の高い経費	人件費 11億9,882万円(14.4%) 職員給、特別職給与、議員報酬など	扶助費 5億713万円(6.1%) 福祉医療費、児童手当など
		公債費 13億2,453万円(15.9%) 過去に借り入れた地方債の元利償還金	
	その他経費 52億9,732万円 (63.6%) 義務的経費以外の経費	補助費等 8億1,671万円(9.8%) 区補助金、佐久広域等負担金など	維持補修費 7,893万円(0.9%) 庁舎等町内施設維持修繕費など
		物件費 10億2,367万円(12.3%) 臨時職員賃金、需用費、役務費など	
臨時的経費 33億7,801万円 (40.6%) 一時的・偶発的な行政需要に対応して支出される経費、規則性のない経費		普通建設事業費等 12億3,097万円(14.8%) 道路改良事業など	貸付金等 1億514万円(1.3%) 宅造会計貸付金など
		繰出金 15億4,061万円(18.5%) 国保等特別会計、南佐久環境等繰出金	積立金 5億129万円(6.0%) 財政調整・減債基金など

[表中()内は構成比]

歳出総額は、前年度より5億2,347万円の増となっています。

主なものとして、「普通建設事業費」は佐久穂町役場新庁舎建設等に伴い前年度より3億2,597万円(36.0%)の増、「積立金」が減債基金などの基金へ積み立てたことにより前年度に比べ9,534万円(23.5%)の増となっています。

一方、公債費は前年度より7,118万円(5.1%)の減となりました

平成 30 年度に実施した主な事業

主 な 事 業	事 業 費 (万円未満四捨五入)	事 業 内 容
ファイリングシステム導入事業	1,117 万円	新庁舎移転に向け、新しく文書管理システムを導入
防犯カメラ管理経費	115 万円	防犯カメラの管理経費 5台
新庁舎建設事業	4億432 万円	新庁舎建設に伴う既存建物の除却及び用地購入等
長野県知事選挙経費	749 万円	8月5日執行の長野県知事選挙の経費
デマンド交通交付金	2,546 万円	商工会運営への交付金 年間延べ利用者数21,642人
道の駅開発許可申請等に係る測量設計業務	1,893 万円	道の駅に係る開発許可申請のための測量設計業務
ふるさと応援寄付金に係る業務	115 万円	返礼品協力事業者募集、ポータルサイト用データ作成等
高齢者福祉施設等の管理	3,026 万円	八千穂老人福祉センターボイラー交換工事等
障がい者支援	2億8,221 万円	サービス給付費、更生医療、補装具等
障がい者施設指定管理委託	1,090 万円	障がい者福祉施設「陽だまりの家」指定管理委託
介護保険事業	1億8,084 万円	介護保険特別会計繰出金等
福祉医療費	5,447 万円	0歳～高校生、障がい者等の一定資格者2,807人対象
出生祝い金	315 万円	第1・2子5万円、第3子以降10万円 50人対象
成長祝い金	230 万円	小学校入学1万円、中学校入学2万円 150人対象
学童クラブの運営	1,560 万円	2箇所で開催、年間延べ利用者数19,407人
児童館の運営	1,119 万円	旧中央小で運営、年間延べ利用者数17,293人
児童手当	1億4,195 万円	児童手当の支給
保育園エアコン設置事業	921 万円	3園の各未満児室及び遊戯室に設置
福祉と健康のつどい	115 万円	町内外各種団体等の協力のもと約1,000人が参加
予防接種	2,030 万円	乳幼児予防接種、インフルエンザ
各種検診等の実施	3,051 万円	集団検診917人、町民ドック511人等
母子保健事業	785 万円	妊婦健康診査助成延べ904人、あそびの広場等の実施
合併処理浄化槽設置	214 万円	合併処理浄化槽設置補助金、4基
一般廃棄物処理事業	1億2,214 万円	ごみの収集運搬、処理業務
農業次世代人材投資事業	1,050 万円	始めて5年以内の新規青年就農者への交付金 7名
中山間地域農業直接支払事業	2,862 万円	遊休荒廃農地の発生防止等により優良農地を確保 50集落
農作物鳥獣害防止対策	176 万円	農家等による柵等設置に対する補助、資材支給
有害鳥獣の駆除	992 万円	農林業被害を防ぐため捕獲報償金 シカ920頭捕獲等
森林造成事業	7,889 万円	更新一貫施業、松くい虫対策等
町単土地改良事業	6,032 万円	農道や農業用水路等の改修工事23ヶ所
商工会活動事業補助金	980 万円	商工会活動への補助
創業支援事業補助金	121 万円	創業者へ賃料、改修費の一部補助 5件
八千穂高原自然園・花木園	330 万円	自然園来園者数13,009人、花木園来園者数1,015人
白駒線バス運行事業	265 万円	佐久平～麦草峠間 輸送人員延べ1,143人
休養施設管理費	2,040 万円	八千穂レイク、駒出池キャンプ場等の管理
町単道路維持改良工事	4,472 万円	箇所付けによる道路改良工事等18ヶ所
辺地対策事業	7,257 万円	地区要望箇所を精査 道路改良工事等6ヶ所
高速道路推進事業	5,790 万円	佐久穂ICに係る整備負担金
補助橋梁維持改良事業	15,260 万円	橋梁長寿命化修繕計画に基づき修繕
町道の除融雪委託	2,440 万円	町内業者へ除融雪業務委託 出動時間886時間
消防ポンプ付軽積載車購入	454 万円	小型動力ポンプ付軽積載車購入、1台
消防団等の経費	6,329 万円	消防団活動の経費 分団数7
スクールバス運行委託料	2,051 万円	遠距離通学児童・生徒に係るスクールバス運行委託
給食費補助金(小・中学校)	1,507 万円	1食当たり100円の補助
町費講師配置事業	5,015 万円	学習支援教員6人、5年から一部教科担任制実施のため講師6人配置等
英語サポート事業(NLT派遣)	1,119 万円	小中学校での英語教育推進のため、NLT2名を配置
児童生徒用机・イス購入事業	542 万円	H28年度から実施している机・イスの更新の最終年度
生涯学習推進活動事業	1,126 万円	従来の各種講座に加え、参加型イベントや新講座の実施
図書館の運営事業	1,849 万円	蔵書整備、図書の購入等
公園の運営事業	958 万円	元気が出る公園等の管理運営費 計6公園分

特別会計 歳入歳出一覧

(単位:円)

会計区分	会計名	歳入	歳出	差引額
普通会計	一般会計	8,699,699,085	8,327,802,292	371,896,793
	住宅改修資金等貸付事業特別会計	9,027,140	9,017,114	10,026
特別会計	国民健康保険特別会計	1,205,524,831	1,204,995,722	529,109
	介護保険特別会計	1,369,046,202	1,344,395,936	24,650,266
	簡易水道事業特別会計	26,570,937	25,243,535	1,327,402
	農業集落排水事業特別会計	74,852,958	72,810,794	2,042,164
	住宅地造成事業特別会計	55,662,043	55,661,200	843
	老人保健施設特別会計	385,381,196	375,859,656	9,521,540
	索道事業特別会計	264,941,053	264,877,705	63,348
	後期高齢者医療特別会計	136,005,540	135,049,361	956,179
病院事業特別会計	収益的収入及び支出	1,639,933,894	1,700,778,282	△ 60,844,388
	資本的収入及び支出	121,917,000	216,855,719	△ 94,938,719
		13,988,561,879	13,733,347,316	255,214,563

※病院事業会計における資本的収入が資本的支出に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金で補填しました。(病院事業会計は、6月議会で認定されています。)

町の財政を一般家庭の家計に例えたら(29年度年間総収入 500 万円の家計を基準に想定)

町の財政状況(一般会計)			一般家庭に例えた場合 30年度			29年度	
歳 入	町税	10億6395万円	収 入	給料	66万円	12%	67万円
	諸収入、分担金・負担金、財産収入など	7億1187万円		パート収入	44万円	8%	30万円
	地方交付税、国県支出金など	52億4918万円		両親・兄弟からの援助	324万円	60%	334万円
	繰入金	8億7899万円		預金の取崩しなど	54万円	10%	27万円
	繰越金	1億6416万円		前年の残り	10万円	2%	14万円
	町債	6億3154万円		ローン借入れ	39万円	7%	28万円
	合計	86億9969万円		合計	537万円	100%	500万円

町の財政状況(一般会計)			一般家庭に例えた場合 30年度			29年度	
歳 出	人件費	11億9882万円	支 出	食費	74万円	14%	75万円
	扶助費	5億713万円		医療費	31万円	6%	31万円
	公債費	13億2453万円		ローンの返済	82万円	16%	86万円
	普通建設事業費、維持補修費	13億990万円		自宅の修繕・増改築	81万円	16%	60万円
	物件費	10億2367万円		消耗品・光熱水費・保険料・備品購入など	63万円	12%	59万円
	補助費、貸付金	8億1671万円		親戚や友人への援助	50万円	10%	58万円
	積立金	5億129万円		貯金	31万円	6%	25万円
	繰出金	16億4575万円		家族への援助	102万円	20%	89万円
	合計	83億2780万円		合計	514万円	100%	483万円

町債残高	50億3229万円	ローン残高	311万円	337万円
基金残高	75億7810万円	貯金残高	468万円	463万円

ローンの返済(公債費)と家族への援助(繰出金)で 36%を占めています。ローンの返済により、ローン残高(町債残高)は大幅に減少しました。

食費と医療費、ローンの返済の3つは、義務的経費といって毎年、必ず支払わなければならないお金です。この負担が大きいほど家計のやりくりも大変になっていきます。また、自分で稼げる収入(給料+パート収入)は昨年より若干増加し20%となっていますが、昨年と同様、両親兄弟からの援助に依存した家計になっています。

ここ数年、少しでも暮らし向きが良くなるように努力してきた結果、「貯金が増え、借金が減る」という傾向にあります。今後、自宅の大規模な修繕等(道路・橋梁の維持補修等)が増え続ける中で、両親兄弟からの援助が減った分を全て貯金でまかなうことは難しい状況です。収入を増やす努力も必要ですが、引き続き支出を減らす取り組みも大事になってきます。